

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2005-141974 (P2005-141974A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021
 【出願番号】特願 2003-375644 (P2003-375644)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 3/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 3/00 3 2 0 Z

H 0 5 B 3/00 3 1 0 E

G 0 3 G 15/20 1 0 9

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 7 日 (2006.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機械的動作部材と、加熱部材と、制御手段と、を有し、前記機械的動作部材と前記加熱部材により被加熱材を加熱する加熱装置において、

前記制御手段は、前記加熱部材あるいは装置の温度を検知する温度検知手段からの検知信号による温度が異常温度と判断する複数の異常検知温度レベルを有し、前記異常検知温度レベルを前記機械的動作部材の非駆動時には駆動時よりも低いレベルに切り替えることを特徴とする加熱装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記加熱部材の発熱制御停止後、前記機械的動作部材の非駆動時に駆動時よりも低く切り替えられる異常検知温度レベルよりも前記温度検知手段からの検知信号による温度が低くなった後に、前記機械的動作部材の駆動停止を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の加熱装置。

【請求項 3】

前記機械的動作部材が被加熱材に当接するとともに回転可能に配置された回転部材であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の加熱装置。

【請求項 4】

前記温度検知手段は前記加熱部材あるいは加熱部材近傍の温度を検知することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れかに記載の加熱装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記温度検知手段からの検知信号により前記加熱部材の発熱を制御して前記加熱部材あるいは装置の温度を所定の被加熱材加熱温度に保つ制御を行う温度制御手段を有することを特徴とする請求項 1 から 4 の何れかに記載の加熱装置。

【請求項 6】

前記被加熱材が記録材であり、前記装置が前記記録材を加熱する定着装置であることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れかに記載の加熱装置。

【請求項 7】

記録材に未定着画像を形成担持させる作像手段と、前記記録材に前記未定着画像を加熱定着させる定着手段を有する画像形成装置において、前記定着手段として請求項 1 から 6 の何れかに記載の加熱装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

(1) 機械的動作部材と、加熱部材と、制御手段と、を有し、前記機械的動作部材と前記加熱部材により被加熱材を加熱する加熱装置において、

前記制御手段は、前記加熱部材あるいは装置の温度を検知する温度検知手段からの検知信号による温度が異常温度と判断する複数の異常検知温度レベルを有し、前記異常検知温度レベルを前記機械的動作部材の非駆動時には駆動時よりも低いレベルに切り替えることを特徴とする加熱装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(2) 前記制御手段は、前記加熱部材の発熱制御停止後、前記機械的動作部材の非駆動時に駆動時よりも低く切り替えられる異常検知温度レベルよりも前記温度検知手段からの検知信号による温度が低くなった後に、前記機械的動作部材の駆動停止を行うことを特徴とする(1)に記載の加熱装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(3) 前記機械的動作部材が被加熱材に当接するとともに回転可能に配置された回転部材であることを特徴とする(1)又は(2)に記載の加熱装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

(4) 前記温度検知手段は前記加熱部材あるいは加熱部材近傍の温度を検知することを特徴とする(1)から(3)の何れかに記載の加熱装置。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

(5) 前記制御手段は、前記温度検知手段からの検知信号により前記加熱部材の発熱を制御して前記加熱部材あるいは装置の温度を所定の被加熱材加熱温度に保つ制御を行う温度制御手段を有することを特徴とする(1)から(4)の何れかに記載の加熱装置。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

(6) 前記被加熱材が記録材であり、前記装置が前記記録材を加熱する定着装置であることを特徴とする(1)から(5)の何れかに記載の加熱装置。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

(7) 記録材に未定着画像を形成担持させる作像手段と、前記記録材に前記未定着画像を加熱定着させる定着手段を有する画像形成装置において、前記定着手段として(1)から(6)の何れかに記載の加熱装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。